

神奈川県 保険医新聞

発行所 神奈川県保険医協会 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2 (TSプラザビルディング2階)
電話045-313-2111(代表) F.A.X 045-313-2113 横浜中央郵便局私書箱第319号
購読料 一部300円(会員の購読料は会費に含まれています) 発行人 田中麻衣子

診療報酬改定に伴い、事務局が繁忙期となるため、下記期間は電話による問い合わせ時間を変更いたします。

会員のみなさまへ
おしらせ

2026年4月1日～同年7月末日まで(予定) (現行)9:00～17:00 →(変更後)9:30～16:00

なお、診療報酬改定については当会ホームページに「診療報酬改定特設ページ」を設けています。よく寄せられるご質問や、疑義解釈などを随時掲載していきますので、ホームページも是非ご利用ください。

神奈川県保険医協会

医療物資不安 目詰まりと価格高騰 歯科診療所の一部で 医療用手袋確保困難も

医療用手袋(グローブ)や透析回路等の「供給不安」と「価格高騰」。

政府は「必要量は足りている」「流通の目詰まりは起きていない」「冷静な対応を」と呼び掛ける一方で、一部の歯科診療所などから「医療用手袋が発注できなくなっている」と不安の声もあがる。何が起きているのか。

「医療用手袋の供給状況は、現在、通常通りの発注には概ね対応できている一方、一部では通常量を大幅に超える発注も見られ、結果として歯科診療所など一部の医療機関では確保が困難となっている」。4月16日の「中東情勢に関する関係者会議」の厚労省提出資料にはこう記された。

こうした状況を踏まえ、政府は4月16日、非滅菌手袋の確保が困難な医療機関へ備蓄の一部放出を表明。配送体制を5月中旬に整備し、医療機関に届くのは早くして5月下旬以降と見込まれる。有償が無償かは未定。ナフサについて、赤沢経産相は4月10日の会見で、「流通の目詰まり」は生じているものの、①化学用品全体の国内需要4カ月分は確保している、②中東以外からのナフサ輸入量の増加により、川中製品の在庫使用期間を半年以上に延ばせる」と説明。高市首相は6月に供給が確保できなくなるなどの一部報道に対し、「事実誤認」と否定した。

供給不足が見込まれる医療機関はどうか。厚労省は医療物資等の供給に関する情報提供窓口を設置している。病院・有

医療用資材の入手困難 改善求め緊急要請

これに先立ち協会は4月9日、原油不足による医療用資材の不足等に対する緊急要請書を、神奈川県と内閣府・厚労省・経産省・財務省宛てに送付した。

要請書では、医療資材等の取引量が少ない医療機関を中心に生じている供給不足の問題に言及。特に外科系や歯科診療所では、医療用グローブの不足は治療に直結する深刻な問題と指摘。また、製造工程の不備等により局所麻酔剤や抗生剤等の薬剤も足りておらず、「治療すると言われているのに等しい」との会員の声を中心に生じている供給不足の問題に言及。特に外科系や歯科診療所では、医療用グローブの不足は治療に直結する深刻な問題と指摘。また、製造工程の不備等により局所麻酔剤や抗生剤等の薬剤も足りておらず、「治療すると言われているのに等しい」との会員の声を中心に生じている供給不足の問題に言及。

「OTC類似薬」追加負担に反対

3月中旬より「ストップ！患者負担増」(OTC類似薬の追加負担反対)署名の普及が始まった。寄せられた署名は開始から一カ月で1千189筆を数え、会員だけでなく、当事者である患者からも続々と不安

本透析医会の山川会長も4月15日公開の週刊誌「女性自身」の取材記事で、医療機器の価格上昇による「経済的な締め付け」を懸念した。4月16日には全自病の望月会長が、一部の病院では6月以降、医療用手袋で50%の価格高騰が見込まれる、▽医療用手袋や衛生材料の受注制限がある、▽完全な欠品ではなく、「高くなっても何とか購入できている」と報告した。

読売新聞も4月15日付の社説「医療物資の供給/買い占め防止の対策が急務だ」で医療機関同士の物資の融通にも言及し、「医療機関の経営状況への影響も注視していきたい」とした。

医科 第一次新点数研究会



保険診療対策部(医科)は4月16日、第一次新点数研究会を関内ホールで開催。ベースアップ評価料や生活習慣病管理料などを、理事や部員がコンパクトに解説。医科外来は850名、医科入院は79名と盛況だった。

協会ホームページ内「KANAOI TV」にて動画配信中(右QRコード)



弱い者いじめ、言語同断

病気で、思うように働けない人もいる中、医療費の増加は患者さんの生活を圧迫していくと思えます。▽こんな無謀な追加負担は即座に中止してください。弱い者いじめは言語道断だ。症状を抱えながら医療

人生で初めて書評を書いた。主観的な感情や自分の体験を記す読書感想文とはスタンスが異なり、その本を

読んでいない人に向けて、客観的な評価や本の分析を記すのが書評であると言われる。小説の場合は、ネタバレも禁忌である。振り返ると最近書店で書籍を選びたい機会がとて少なくなつた。そのような中での本との出会いは、偶然のような必然とも言えるかもしれない。著者の経歴、思想、時代背景などが凝縮された一冊の本を読むことは、著者の人生と出会うことであり、そこに彩を添えてくれるのが、書評を書く、という行為なのかもしれない。その能動的な行動が、読者自身の人生観や価値観を投影する一種の自己表現ともなり得る。文章化することで、自分の思考や感情が整理されもする。そのような点で、書評を書くことは、自分自身と向き合うことにもなるのではないかと感じている。本との出会いは、人生の地図に新しい道を作る。そして書評を書くことは、その風景をゆつくり味わいながら、言葉にしていく作業なのではないだろうか。▼様々な新しい出会いに期待が膨らむ春。新しい本と出会い、知らなかった自分自身との新たな出会いをも表現しよう。そして、会員の新しい道の開拓の為に、書評を当協会にお寄せいただくで大変ありがたい。紙面の活性化につながることを願う。

診療報酬改定 2026

医科

疑義解釈(その2)

今年6月からの点数改定に関して、厚労省より4月1日付で「疑義解釈(その2)」が出された。以下、主な項目を抜粋等で編集の上で紹介する。なお、全容や詳細は協会ホームページ「いい医療ドットコム」(https://www.iiry.com/)等をご参照いただきたい。

【電子的診療情報連携体制整備加算】

Table with 2 columns: 質問, 回答. Content regarding electronic medical information linkage system preparation addition.

【在宅療養支援診療所・病院】

Table with 2 columns: 質問, 回答. Content regarding home medical care support clinics and hospitals.

【処方料】

Table with 2 columns: 質問, 回答. Content regarding prescription fees.

【処方箋料】

Table with 2 columns: 質問, 回答. Content regarding prescription fee.

【外来・在宅ベースアップ評価料】

Table with 2 columns: 質問, 回答. Content regarding outpatient/home-based up-rating evaluation fees.

歯科

疑義解釈(その1・2)

今年6月からの点数改定に関して、厚労省より3月23日付で「疑義解釈(その1)」、4月1日付で「疑義解釈(その2)」が出された。以下、主な項目を抜粋・一部太字等で編集の上で紹介する。なお、全容や詳細は協会ホームページ「いい医療ドットコム」等をご参照いただきたい。

【初診料】

Table with 2 columns: 質問, 回答. Content regarding initial consultation fee.

※編注：令和8年(2026年)4月22日開催(WEB限定)の神奈川県保険医協会特別研究会「歯科医療安全対策講習会(偶発症に対する緊急時の対応、医療事故、院内感染防止対策、感染経路別予防策及び新型コロナウイルス等感染症等に対する対策・発生動向等)」に「抗菌薬の適正使用」も含まれております。

【電子的歯科診療情報連携体制整備加算(歯DX)】

Table with 2 columns: 質問, 回答. Content regarding electronic dental medical information linkage system preparation addition (Dental DX).

※編注：歯DX既届出医療機関が2026年6月1日以降に歯DXを算定する場合には、2026年5月7日～同年6月1日(必着)までに関東信越厚生局神奈川事務所への届け出が必要となります。

【歯科疾患管理料(歯管)】

Table with 2 columns: 質問, 回答. Content regarding dental disease management fee (Dental Tube).

【特別管理加算(特管)】

Table with 2 columns: 質問, 回答. Content regarding special management addition (Special Tube).

(参考) 日本障害者歯科学会研修カリキュラム https://www.jsdh.jp/media-download/215/f80e3591f003252e/

Table with 2 columns: 質問, 回答. Content regarding special management addition (Special Tube) - continuation.

【歯周病患者画像活用指導料(口画像)】

Table with 2 columns: 質問, 回答. Content regarding periapical patient image utilization guidance fee (oral image).

【口腔機能実地指導料(口指導)】

Table with 2 columns: 質問, 回答. Content regarding oral function practical guidance fee (oral guidance).

※編注：令和8年(2026年)5月15日に神奈川県保険医協会特別研究会「口腔機能実地指導料施設基準研修会」を開催(WEB限定)いたします。

Table with 2 columns: 質問, 回答. Content regarding oral function practical guidance fee (oral guidance) - continuation.

※編注：令和9年(2027年)5月診療分までの口指導の届け出にあたっては、「研修受講予定」ということで問題ありません。ただし、その際、令和9年(2027年)5月までに研修受講の上で再届けが必要になりますので、ご注意ください。

【画像診断】

Table with 2 columns: 質問, 回答. Content regarding image diagnosis.

【歯科口腔リハビリテーション料1(歯リハ1(1))】

Table with 2 columns: 質問, 回答. Content regarding dental oral rehabilitation fee 1 (Dental Rehabilitation 1 (1)).

協会行事予定

4月28日
～5月10日

- 4月28日(火) 19時
医療情報部会19時30分
5月8日(金) 医療政策研究室・政策講演会19時30分
- 5月1日(金) 5月9日(土) 定時評議員会17時
- 5月2日(土) 5月10日(日) 医科新規指定医講習会10時
- 5月7日(木) 公書環境対策部会19時
組織部会19時 県央支部
幹事会・総会・記念講演

保険点数Q&A

【医科】
以上が算定条件ですが、

(Q) 歯科診療を担う別の医療機関からの求めに応じて、患者の検査結果や投薬内容等の診療情報を患者の同意を得て文書提供した場合、算定できる点数はありますか？

(A) 診療情報連携共有料120点が提供される医療機関ごとに3月に1回算定でき

計報

ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

◎秋 政成氏

(川崎市高津区)

2025年8月10日、ご逝去されました。享年66歳。

◎城 俊明氏

(横浜市港北区)

2026年1月28日、ご逝去されました。享年76歳。

◎藤田 麻美氏

(横浜市西区)

2026年1月31日、ご逝去されました。享年73歳。

◎清水 宏明氏 (平塚市)

2026年3月15日、ご逝去されました。享年69歳。

◎浅井 和秋氏

(横浜市南区)

2026年3月27日、ご逝去されました。享年72歳。

【歯科】
(Q) これまで口腔機能管理料の算定に必要な検査を行うための機器がなく、算定していませんでした。6月に診療報酬改定が予定されていますが、算定条件等は変更されますか？

(A) 今回の改定で、口腔機能管理料は口腔機能管理料(以下「口機能」)1・2に分かれる予定です。口機能1・2ともに口機能低下症の評価項目のうち3項目以上に該当する必要があること(舌圧検査など5種類のうち1つ

「ビッグ・シティ」

日常を描く、踊らないインド映画

鎌倉市 濱名 哲郎

1950年(昭和25年)のインド・コルカタ(カルカッタ)。バンガラデシユとの国境に近い都市で、そこに住む貧しい二世帯六人家族の物語です。

銀行員であるシュプラトの妻アラチは、それまでの収入一本の生活から心切ります。しかしその矢先、同僚を助けるため

1950年(昭和25年)のインド・コルカタ(カルカッタ)。バンガラデシユとの国境に近い都市で、そこに住む貧しい二世帯六人家族の物語です。

銀行員であるシュプラトの妻アラチは、それまでの収入一本の生活から心切ります。しかしその矢先、同僚を助けるため



「ビッグ・シティ」
COPYRIGHT 1963/
ALL RIGHTS RESERVED
RDB ENTERTAINMENTS

本作の監督、脚本、そして音楽はサタジット・レイで、ベルリン国際映画祭で銀熊賞を受賞しました。日

1950年(昭和25年)のインド・コルカタ(カルカッタ)。バンガラデシユとの国境に近い都市で、そこに住む貧しい二世帯六人家族の物語です。

銀行員であるシュプラトの妻アラチは、それまでの収入一本の生活から心切ります。しかしその矢先、同僚を助けるため

医科・今月の返戻相談事例

保険・労災診療が同時 外来管理加算は算定可能？

協会では日頃から会員の医療機関より、県支払基金や県国保連合会からの査定(減点)内容に関する相談に対応している。以下が今月の主な査定相談事例である。

医療機関より、県支払基金や県国保連合会からの査定(減点)内容に関する相談に対応している。以下が今月の主な査定相談事例である。

保険医協会は、診療報酬算定やレセプト査定等の質問に、電話でお答えします！

TEL 045-313-2111

*診療報酬改定前後はお電話が混み合う場合がございます。ご了承ください。
*協会に査定(減点)内容に関するご相談の際には、増減点連絡書をお手元に用意の上、ご連絡ください。

項に算定された。病名は破傷風疑いが入っていた。

(A) 破傷風の感染疑いとなった原因の外傷の病名がないためと考えられる。原

因の外傷が治癒した場合に、詳細にて対応する。

※査定事由A・D概要
A・療養担当規則等に照らし、医学的に保険診療上を同時に行った際に診療料を労災で算定し、保険診療の方で処置等を行わなかったため、外来管理加算のみを算定したところ、返戻された。

(A) 外来管理加算は再診料に付随する加算のため、加算単体での算定はできない。今回の場合、診察料は

またこれに準ずる状態の方は、包括的支援加算の対象のため、算定して問題ない。要介護5と認定されている旨を追記した上で、再審査請求を行う。

(Q) 外傷により破傷風の疑いがあった患者に二回目破傷風トキシノイドを打ち保険で請求したところ、A

(A) 外来管理加算は再診料に付随する加算のため、加算単体での算定はできない。今回の場合、診察料は

歯科

施設基準再届出等にご留意を 6/1からの算定は 5/7～6/1(必着)に要届出

今度歯科診療報酬改定(6月施行)には施設基準の新設・基準変更等も盛り込まれている。これら施設基準に係る点数算定を6月1日から行う場合には、5月7日から6月1日(必着)までに、保険医療機関の所在地の地方厚生局長(関東信越厚生局神奈川事務所)への届出が必要となるのでご留意いただきたい(表1・2参照)。

特に今度改定では、医療情報取得加算(医情)・医療DX推進体制整備加算(医DX)は電子的歯科診療情報連携体制整備加算へ再編、外来後発医薬品使用体制加算(外後発使)は地域支援・外来医薬品供給対応体制加算へ再編される。歯科外来・在宅ベースアップ評価料(歯外ベア)は施設基準が変更される。そのため、医DX・外後発使・歯外ベアの既届出医療機関が6月1日以降も変更・再編された点数を引き続き算定する場合には前述の期間内に改めての届出が必要となる。忘れずに届出をしていただきたい(今度改定において医DX・外後発使・歯外ベア以外の施設基準は、再届出は不要)。下表に届出や再届出が必要な施設基準を提示したのでご参照いただきたい。

〈表1〉主な新設点数の施設基準(届出が必要)

- ① 電子的歯科診療情報連携体制整備加算1・2^{※1}
- ② 特別管理加算(歯科疾患管理料(歯管)の注12に規定する点数)
- ③ 口腔機能実地指導料^{※2}
- ④ 地域支援・外来医薬品供給対応体制加算1・2・3^{※3}
- ⑤ 歯科吸引麻酔または歯科静脈麻酔(II)
- ⑥ 3次元プリント有床義歯
- ⑦ 歯科技工所ベースアップ支援料

(※1) 医療DX推進体制整備加算(医DX)の既届出医療機関も届出が必要
(※2) 研修については経過措置あり(当会では5月15日に研修会実施予定)
(※3) 外来後発医薬品使用体制加算の既届出医療機関も届出が必要

〈表2〉主な施設基準の変更(既届出医療機関は再届出が必要)

- ① 歯科外来・在宅ベースアップ評価料(I)^{※4}
- ② 歯科外来・在宅ベースアップ評価料(I)の注5に関する施設基準^{※5}
- ③ 歯科外来・在宅ベースアップ評価料(II)^{※4}
- ④ 歯科外来・在宅ベースアップ評価料(II)の注5及び注6に関する施設基準^{※5}

(※4) 歯科外来・在宅ベースアップ評価料既届出医療機関であっても改めて届出が必要。なお、2026年3月時点で歯科外来・在宅ベースアップ評価料を算定している既届出医療機関が、「継続して賃上げに係る取り組みを実施した保険医療機関」としての点数を算定する場合にも様式95で届出する。
(※5) 2026年3月時点でベースアップ評価料を算定していないが、「継続して賃上げに係る取り組みを実施した保険医療機関」が届出可能。その際は様式95と様式98を届出する。

第643回月例研究会 講演要旨 (2026年4月16日講演)

関節リウマチ診療 up to date

～生物学的製剤時代のリウマチ整形外科医～

横浜市立大学附属市民総合医療センター リウマチ膠原病センター
講師 針金 健吾氏

共催：神奈川県保険医協会／大正製薬株式会社

関節リウマチ診療における薬物療法の進歩

関節リウマチ (rheumatoid arthritis: RA) は関節滑膜を病変の首座とする原因不明の疾患で、進行すると関節破壊や機能障害を来す全身性疾患です。かつては「進行性で不可逆的な関節破壊を避けられない疾患」と認識されていましたが、近年の病態解明と治療法の進歩により、その診療は劇的に変化しました。現在では、早期診断・早期治療により、多くの患者で滑膜炎を抑制し、良好な疾患コントロールを維持することで関節破壊を予防し、社会生活を維持することが可能となってきました。

現在のRA診療では“Treat to Target (T2)”の考えに基づき寛解または低疾患活動性を明確な目標とした治療が行われており、まずはアンカードラッグであるメトトレキサート (MTX) を可能な限り早期に使用し、MTXで治療目標が達成できない場合は生物学的製剤やヤヌスキナーゼ (janus kinase: JAK) 阻害薬などの使用が推奨されています。これらの薬物療法は疾患活動性の抑制に極めて有効であり、関節破壊の進行を大きく抑制できるようになりました。一方で、薬物療法のみでは対応しきれない関節疼痛や変形、機能障害を有する難治症例 (difficult to treat: D2T症例) も依然として存在します。

D2T症例に対する治療戦略と外科的手術療法

そのようなD2T症例に対する治療戦略で重要な役割を担うのが関節注射・装具療法・リハビリテーションや外科的手術療法です。外科的手術療法は、RA診療における「最終手段」ではなく、薬物療法と適切に組み合わせることで患者の日常生活動作 (ADL) や生活の質 (QOL) を改善する治療手段として位置づけられています。滑膜切除術は炎症の温床となる滑膜を除去することで疼痛軽減や関節破壊進行の抑制が期待でき、関節温存手術として現在も一定の意義を有しています。また、進行した関節破壊に対しては人工関節置換術が行われ、手術手技やインプラントの改良により、安定した成績が報告されています。

ここで手術療法の適応とタイミングが重要となってきます。薬物療法によって炎症が抑制されていても、日常生活動作に支障を来す疼痛や可動域制限が残存する場合、手術療法を検討する意義があります。手術療法の目的は単なる疼痛除去ではなく、関節機能を再建し、患者のADL・QOLを回復させることにあります。そのため、多職種が連携し、疾患活動性と構造障害の両面から患者を評価し適切なタイミングで手術療法に介入することが重要です。

新たなTNF阻害薬～オゾラリズムブ～

オゾラリズムブ (OZR) は2022年にRAに対して承認された、最新の抗TNF阻害薬で、国内初のナノボディ製剤です。そもそも、ヒトIgG抗体は重鎖と軽鎖からなる分子サイズが約150kDaのタンパク質です。ラクダやアルパカ、ラマなどのラクダ科の哺乳類は生体内で軽鎖のない、重鎖のみからなる免疫グロブリンを産生することが知られています。そのラマ重鎖抗体の変異領域を抜き出し、一本鎖で膠原に特異的に血同可能な低分子抗体をナノボディと呼びます。ナノボディは抗原に対して通常の抗体と同様の親和性を有しており、耐酸性や耐熱性に優れ、変性しても生理的条件下に戻せば適切な構造が復活して活性が戻るという特徴を有します。OZRは2つの抗ヒトTNF α ナノボディと1つの抗ヒト血性アルブミンナノボディがリンカーで結合した三量体構造のヒト化融合タンパク質です。アルブミン結合部位を有することによって速やかに炎症部位に到達し、かつ長い半減期を有することができると考えられており、この効果は動物実験でも証明されています。

当院でのRA 15例 (女性9例、男性6例、平均年齢69.6歳) に対する投与経験でも、患者疼痛visual analogue scale (VAS) は投与開始後4週で速やかに改善し、24週まで経時的に改善を認めました。最新のテクノロジーで開発され、これまでの抗TNF阻害薬と大きく異なる構造を有する製剤であり、他の生物学的製剤が無効などの難治症例に対する切り札となりうるのか、今後長期成績が期待されます。

本講演では、関節リウマチの病態と薬物療法の基本を概説した上で、外科治療が果たす役割を中心に解説します。さらに、内科医や開業医の先生方が日常診療の中で「どのような症状や所見を認めた場合に整形外科へ紹介すべきか」「周術期の薬物療法管理で注意すべき点は何か」といった実践的な視点についても考えます。関節リウマチ診療を薬物療法と外科治療の対立構造で捉えるのではなく、時間軸に沿った連携医療として理解していただくことを、本講演の目的とします。

TNF α 阻害薬 (一本鎖ヒト化抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤) 【新薬承認済】
 オゾラリズムブ (遺伝子組換え) 製剤
ナゾラ® 皮下注30mg シリンジ
 オートインジェクター
 Nanozora® 30mg Syringes / Autoinjectors for SC Injection
生物学的製剤 製薬 大正製薬株式会社 又はその関係者との共同開発によるものです

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む
 注意事項等情報等については電子添文をご参照ください。
©大正製薬株式会社登録商標

製造販売【文献請求先】
大正製薬株式会社
 〒170-8633東京都豊島区高田3-24-1
 お問い合わせ先: ☎0120-591-818
 メディカルインフォメーションセンター
 2025年1月作成

研究会案内

※研究会に会場参加の際は、マスク着用・手指の消毒等の感染症対策にご協力ください。また発熱症状等がある場合は参加をお控えください。 ※必ず事前にお申込みください。

※新型コロナウイルス感染拡大や天災等により、急遽開催形式を変更または中止させていただく場合がございます。その場合は当会HP「いい医療ドットコム」にて適宜お知らせします。予めご承知お祈りします。 ※協会行事においては、その模様を写真撮影し、記事とともに機関紙に掲載することがありますので予めご了承ください。

神奈川県保険医協会 検索 WEB参加の申込みは、協会HP「いい医療ドットコム」のイベントカレンダーからできます。「神奈川県保険医協会」で検索を!

5月15日(金)午後7時～

施設基準

歯科特別研究会

口腔機能実地指導料の施設基準研修会

研修内容は、口腔機能発達不全症および口腔機能低下症の概要、検査法、訓練法および実地指導方法等(入院患者や在宅・施設療養患者への対応を含む)に係る内容です。

ところ WEBライブ配信

講師 保土ヶ谷ふみ歯科クリニック 院長 高橋 史典氏

参加対象 協会歯科会員の医療機関に勤務する歯科衛生士、協会歯科会員本人

参加方法 下記QRコードもしくは協会HPよりお申込み

※修了証の発行は歯科衛生士に限らせていただきます。

※必ず「参加者本人の氏名」でご登録ください。また、同じメールアドレスで登録できるのは1名様までです。同じ医療機関から複数名でお申込みされる場合はそれぞれ違うアドレスでご登録ください。

※参加申込完了後、Zoomより「登録確認のお知らせ」というメールが届きます。研究会当日は、そのメール内の「ウェビナーに参加」という青いボタンを押すか、ボタンのすぐ下にあるURLからご参加ください。なお、開催1日前および開催1時間前に届く「リマインダーメール」からも参加可能です。

※講演の途中参加、途中退出、確認テストの未回答の場合は、修了証は発行いたしかねます。接続トラブル等の場合であってもご対応いたしかねます。必ずご自身で接続環境など事前にご確認の上、ご参加をお願いいたします。

お申込み 歯科研究部

5月2日(土)午後6時～

臨床懇話会

協会会議室・WEB併用

テーマ 「クリニック外来における心電図」

—第2弾「不整脈」—

講師 協同ふじさきクリニック 桑島 政臣氏

所長

参加対象 会員(医療機関スタッフ・ご家族も可)

参加方法 ①か②いずれか

①協会会議室…定員120名

②WEB参加…下記QRコード

もしくは協会HPよりお申込み

※日生涯教育講座CC「43(動悸)」1単位

【医籍番号の入力について(下記「重要」参照)】

お申込み 研究部

5月23日(土)午後2時30分～

市民公開講座

協会会議室・WEB併用

テーマ 「医療情報の見分け方講座」

—その医療情報、フェイクかも!?家族を守る視点を身につけよう!—

講演① 「健康・医療情報の見極め方」

向き合い方

講師 日本医科大学武蔵小杉病院 腫瘍内科 教授 勝俣 範之氏

講演② 「補完代替療法への自衛策」

講師 弁護士法人御堂筋法律事務所 弁護士 山崎 祥光氏

参加方法 ①か②いずれか

①協会会議室…定員80名

②WEB参加…下記QRコード

もしくは協会HPよりお申込み

※日生涯教育講座CC「7(医療の質と安全)」2単位申請中

【医籍番号の入力について(下記「重要」参照)】

※協会ホームページ内「イベントカレンダー」にてチラシ(PDF)を配布中です。院内掲示にご協力ををお願いいたします。

お申込み 研究部

5月14日(木)午後7時～

JOY会第44回研究会

知っているようで、わからないことも多い産婦人科。こんなときはどうしたらよいか、自分のこと、家族のこと、患者さんのこと、基礎知識から人に聞けないことまで、ざっくばらんにわいわいお話ししましょう。質問大歓迎です。※講演後、20分程度質疑応答の時間を設けております。

ところ 協会会議室・WEB併用

テーマ 「気をつけたい産婦人科疾患」

講師 サラクリニック 菊地 紫津子氏

院長

参加対象 会員(医療機関スタッフ・ご家族も可)

参加方法 ①か②いずれか

①協会会議室

②WEB参加…下記QRコード

もしくは協会HPよりお申込み

お申込み JOY会

5月23日(土)午後6時～

写真教室(旧・写真合評会)

協会会議室

講師 日本写真家協会会員 二科会写真部会員 榎原 俊寿氏

参加費 500円(当日支払)

参加対象 会員(医療機関スタッフ・ご家族も可)

定員 10名

※持参作品は一人10点まで。紙焼き、デジタルデータ、白黒・カラー、サイズ不問です。六つ切り、A4サイズなどの作品は協会会議室への展示のため、お借りすることがございます。デジタルデータの場合はUSBメモリなどをお持ち込みください。

お申込み 文化部

第32期第2回 定時評議員会のご案内

左記のとおり第32期第2回定時評議員会を開催いたします。詳細につきましては、評議員の先生方には別途、往復はがきを郵送しております。恐れ入りますが、ご確認のほどよろしくお願い申し上げます。

とき 5月9日(土) 午後5時～6時

ところ 協会会議室・WEB併用

【議題】

第1号議案 2025年度活動報告の承認を求める件

第2号議案 2026年度活動方針案の件

第3号議案 2026年度予算案の件

第4号議案 総会決議文起草委員選出の件について

第5号議案 功労者及び敬寿会員の表彰について

特別報告 春の会員増加推進月間について

【懇親会】 午後6時15分～7時40分(予定)

2026年4月 神奈川県保険医協会 第32期評議員会議長 伴 孝

会場参加のお申込み・お問合せは、協会事務局(TEL:045-313-2111)までご連絡ください

無料動画配信を協会HP「いい医療ドットコム」にて行っています(右記QRコード)。ぜひご視聴ください! ※下記は一例です。一部コンテンツの視聴には会員限定のパスワードが必要です。ご存じでない方は☎045-313-2111まで。

【相模原支部研究会】

2026年 医療業界の採用最前線

一人材不足時代の採用・定着・組織づくり

講師: 株式会社Dental Happy 野崎 卓朗氏

【医療問題研究会】

知ろう、ともに考えよう、social choiceとしての医療

講師: 日本医師会 総合政策研究機構 主席研究員 森井 大一氏

【臨床懇話会】

アプリを使った糖尿病診療

講師: 西台駅前すまやま内科 糖尿病クリニック 院長 増山 敦氏

【歯科臨床研究会】

歯科用ジルコニアの進化と臨床活用ポイント

講師: 愛知学院大学 歯学部 歯科理工学講座 非常勤講師(教授級) 伴 清治氏

【医療情報講演会】

医療DXの義務的推進の問題とオン資義務不存訴訟の重要性

講師: オンライン資格確認義務不存確認等請求訴訟原告団事務局 東京保険医協会 理事 医療法人社団いつき会 ハートクリニック 院長 佐藤 一樹氏

神奈川県
保険医新聞

発行所 神奈川県保険医協会 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-23-2 (TSプラザビルディング2階)
電話045-313-2111(代表) F A X 045-313-2113 横浜中央郵便局私書箱第319号
購読料 一部300円(会員の購読料は会費に含まれています) 発行人 田中麻衣子

川崎支部版

編集：神奈川県保険医協会川崎支部 支部長：花田徹野

「欧州の医学史」をテーマに研究会開催

豊富な写真をもとに語る

川崎支部は4月17日、「欧州の医学の歴史」をテーマにWEB限定で支部研究会を開催。46名が視聴した。当日は協同ふじさきクリニック所長桑島 政臣氏が講師を務め、欧州の解剖学・感染症等をはじめとした医学の歴史について時系列で紹介しつつ、自身が実際に訪れた史跡について写真を豊富に用いながら解説した。



講師：桑島 政臣氏

氏は、世界四大文明（エジプト文明、メソポタミア文明、インダス文明、中国文明）について、それぞれ医神（医療の神）がいたと紹介。エジプト文明ではイムホテプ、メソポタミア文明ではアスクレピオス、インダス文明はアーユル・ベーダ、中国文明では神農等がそれぞれ信仰されていた。この中で唯一イムホテプだけは神格化されているものの、実在していたことが確認されている。また、ギリシャ神話に登場するオリンポスの十二神ではアポロンが医療を司る神として信仰を集めていた。そういった古代文明・神話等の話を皮切りに、氏が実際に訪れた欧州の史跡等の写真をもとに、医学の歴史について解説した。当日研究会で投影されたスライド資料は178枚だが、その大

半氏が実際に欧州で撮影した写真である。さらに氏は解剖学史に触れるなかで、イタリア、パドヴァ大学の人体解剖教室についても紹介。現地で個人が撮影することはできないが、400年以上前より人体解剖を行っており、解剖が行われたという部屋について解説した。当時ここで人体解剖されたのは犯罪者が多く、さらには一般公開もされたという驚きの話もされたが、死臭が街中に

また、欧州に旅行に行く際は、ぜひその都市にある墓地を訪ねてみてほしいと述べ、例えばフランス・パリのペール・ラシェーズ墓地は非常に大きく、見ごたえがあると紹介した。日本の墓地と異なり欧州の墓地は現地の人が子どもを連れて散歩したり、読書を楽しむなど公園のような雰囲気があるとし、墓地を歩きながら旅行中に文章情報を撮影しておくこと、生成AIがラテン語などの古い言葉も翻訳可能なため、帰国後ゆっくり解説し、楽しむことができるかと語った。

本研究会については協会ホームページ（KANAH OITV）上でアーカイブ配信（会員限定）しているため、ぜひご視聴いただきたい。



パドヴァ大学 (イタリア・パドヴァ)



ペール・ラシェーズ墓地 (フランス・パリ)

第56回川崎支部総会のご案内

川崎支部の2026年度1年間の活動方針を決める重要な会です。また、2025年度の活動についての報告を行います。支部会員の皆様のご参加をお願い申し上げます。(2025年度活動報告案、2026年度活動方針案：裏面)

とき：5月25日（月）午後7時10分～

ところ：川崎市医師会館（3階「ホール」）

*通信環境の確保が難しいため、当日のWEB配信はございません。ご了承ください。

(後日、ホームページにて記念講演の動画を配信予定です)

総会議事 議 題：▽2025年度活動報告案の承認を求める件
▽2026年度活動方針案の承認を求める件
参加対象：支部会員

記念講演 総会議事に引き続き午後7時30分から開催。

テーマ：やさしく学ぶ、こころの漢方

講 師：かえるメンタルクリニック 院長 陶山 亨氏
参加対象：会員（医療機関スタッフ・ご家族も可）

昨年に引き続き、精神科外来での漢方薬の活用についてご紹介いたします。こころの治療で、とても役に立つ漢方薬について、新たな症例や、一歩踏み込んだ内容を含め、できるだけ分かりやすくお伝えしたいと思います。精神科・心療内科だけでなく、多くの科の先生方の日々のご診療に役立つ内容をご紹介したいと思います

お申込み：TEL 045-313-2111
(4月中旬にお送りしたFAXのご返送でもお申込みできます。)

寄稿コーナー



今回は「ペット」

去年の夏、人生で初めて犬を迎えた。中型の保護犬マッコイ。知人に勧められた保護犬団体のホームページで妻が一目惚れしたのが、このマッコイ。今まで知らなかったのだが、妻は幼い頃から大きな犬を飼うことが夢だったらしい。ふわふわとした白色に淡いベージュの長毛、ミルク多めのミルクティ色。耳はピンと立っているのだが、耳

私の愛犬 我が家が初めて迎えた犬

中原区 田村 義民

い。凛とした立ち姿。一目惚れとはこういうことか。私もすぐに納得した。しかし、元野犬。すでに成犬・中型犬・1日2回の1時間弱の散歩。と初心者には難題が立ちあがった。

実際にマッコイとの生活が始まると、心配はいの意味で裏切られた。散歩が大好きでとても上手。家でもいたずらもな驚くほどお利口だ。最近「お手」も覚え、誇らしげに前足を、時に両足を差し出す姿に、家族

全員が笑顔になる。我が家には3人の息子と、オスのオキナインコと、ネザラランド・ドワーフというウサギと、二匹の亀がいる。気づけば男の子だらけ。その中でマッコイは元野犬とは思えない穏やかさで、今日も家族の中心にちよこんと座っている。うちの自慢の愛犬だ。



川崎支部 2025年度活動報告(案)

1. 支部幹事会の開催

【2025年度活動方針】

支部幹事会の活性化を図るべく、原則として隔月で支部幹事会を開催し、支部会員にとってより有益な情報の共有化、時期にかなった研究会企画などの具体化を図る。WEB開催(または併用)により、幹事会に参加しやすい環境を作る。

【活動内容】

原則として隔月で支部幹事会を開催している。2025年度は計6回開催しており、うち5回はWEB限定開催、最後の1回は5月の支部総会前に、川崎市医師会館にて会場開催している。

幹事会では、情勢検討や、支部研究会の企画検討、保険医新聞川崎支部版の発行、小児医療費助成制度に関する取り組み(子ども連絡会での活動含む)が中心議題となった。

【成果】

- WEB開催により、引き続き若手幹事を中心として出席率が高かった。また幹事会では、出席幹事の全員が何らかの形で一言は発言するようにしており、診療科目や年代を問わずに自由な意見が交わされ、多様な意見をくみ取ることができた。

【教訓】

- 引き続き様々な意見を拾い上げ、支部活動の充実を図る。

2. 支部幹事および評議員充足の取り組み

【2025年度活動方針】

支部幹事・オブザーバーの増員、および、評議員の充足に努める。幹事の発掘では、特に医科の増員に引き続き努める。若手懇や会員取材、他部署との連携を強化することで支部会員の発掘に努める。

【活動内容】

支部幹事・オブザーバーに関して増員に繋げることができなかった。

【教訓】

- 支部幹事・オブザーバーについては、幹事からの情報提供等から候補者の発掘を行う。
- 評議員については、定数21名に対し充足数8名という状況のため引き続き補充に向けて動いていく。

3. 医療運動

【2025年度活動方針】

従来通り各種健(検)診、医療費助成制度の動きを注視し、住民のための医療諸制度の拡充に向け、医療団体としての力を活かした諸団体への情報提供と講師派遣を行う。議員、行政ほか、医師会等関係団体との懇談を積極的に設定していく。

【活動内容】

幹事会では、2024年診療報酬改定と、この間の物価高・人件費の高騰が医院経営にどれだけ影響を及ぼしているか調査した「経営に関する会員アンケート」(協会税対経営部が実施)の結果が報告された他、電子処方箋の導入や、スマートフォンのマイナ保険証利用開始、2026年診療報酬改定の内容等について意見交換を行った。川崎市の小児医療費助成制度等については、下記「6.共闘関係」を参照。

【成果】

- 幹事会で、診療報酬改定や、電子処方箋の導入等について情報共有・意見交換した。川崎市の小児医療費助成制度の改善要望を共闘団体とともに実施した。

【教訓】

- 地域・時勢に応じた支部会員の要求・要望に沿った運動を展開すべく、幹事会を中心として意見交換および検討を引き続き重ねる。

4. 会員増加の取り組み

【2025年度活動方針】

会員増加目標を10名とし、未入会の開業医については、原則一度は訪問することとする。特に院長交代時には、組織部との連携も図り、「会員」として途切れさせないアプローチをする。

【活動内容】

事務局員を中心として電話掛けや訪問を行い、会員拡大へ取り組んだ。

【成果】

- 新規で●名の入会に繋がった。

【教訓】

- 引き続き会員増加の取り組みを強化する。

5. 医科・歯科連携の推進と研究会活動

【2025年度活動方針】

支部ならではの研究会を企画し、適宜、会員の要望を汲む企画を実施する。

【活動内容】

支部研究会として、12月2日に「知っておきたい 医療機関におけるペイシエントハラスメントのポイントと対策」をテーマに、WEB限定で川崎支部研究会を開催。当日は法律事務所クレインの弁護士 大野美樹氏が講師を務め、90名が参加した。

氏は、2025年6月の法改正に伴い、患者や家族からのハラスメント(ペイハラ)に医療機関も組織として対応することが法律で明確に求められるようになったとし、医療機関が取るべき対応についても解説した。また2019年12月発出の応召義務に関する通知をもとに「患者を診療しないことが正当化される(応召義務違反にならない)」事例についても具体的に紹介。クレームの内容が単なる言いがかりである場合は業務妨害であるとの認識のもと、毅然と対処することが大事とした。

また、4月17日には『『欧州の医学の歴史』を訪ねる旅』をテーマに協同ふじさきクリニック所長の桑島 政臣氏が講演した(以下追記予定)。

【成果】

- 支部研究会において、患者からのハラスメント対策や、毎回参加者からの評価が高い「欧州の医学の歴史」をテーマにした研究会等、会員ニーズに沿ったテーマで開催することができた。協会ホームページでアーカイブ配信をすることで、当日参加できなかった会員も動画視聴できるようにした。

【教訓】

- 引き続き、幹事会での議論をもとに会員ニーズの高いテーマの研究会開催を行っていく。

6. 共闘関係

【2025年度活動方針】

小児医療費助成制度について引き続き「川崎市こどもの医療費無料化を求める連絡会」と連携し改善運動を強める。

社会保障全般については、川崎市社会保障推進協議会との連携を強化し、医療専門団体として社保充実のための運動に、役員・事務局の派遣等の協力を継続する。

【活動内容】

①川崎市こどもの医療費無料化を求める連絡会(以下、連絡会)連絡会の定例会議(●回)への出席および関連活動は、主に二村副支部長および担当事務局員が対応。前年度に引き続き「窓口一部負担金の完全撤廃」「対象年齢18歳までの拡充」を掲げ、「川崎市こどもの医療費無料化を求める連絡会」と共闘して運動展開した。

まず、前年度に集約を始めた陳情署名を6月2日に川崎市議会に提出。6月19日に記者会見を開き、二村副支部長をはじめ、子どもを持つ市民ら8名が一部負担金の撤廃と対象年齢の拡充の必要性を訴えた。記者会見の模様は6月19日の夕方と夜にテレビ神奈川で報じられた他、6月20日に神奈川新聞でも報道された。テレビ神奈川で報じられたニュースはヤフーニュースにも転載され、全国区で知られることとなるなど、大きな反響を呼んだ。

7月には、2026年度予算ヒアリング等を通して市議会5党派(全会派)と懇談を行った。連絡会からの要望は、「窓口一部負担金の撤廃」と「18歳までの対象引き上げの検討」の2点。「自民党」からは、加藤副団長、青木・末永・本間・松原各議員、および、国会議員秘書6名、「みらい」からは、木庭団長、井本・鈴木・林各副団長、「共産党」からは、宗田団長、石川・市古両副団長、石川・後藤・渡辺各議員、「川崎・維新」からは、重富団長、仁平副団長、「公明党」からは、川島副団長、枝川・平山両議員一が対応した。自民党からは前回同様、必要性の乏しい頻回な受診が惹起されるのではないかと懸念が示される一方、「川崎市長に、現行の小児医療費助成制度が抱える問題について聞いてみたい」等制度改善に向け前向きな発言もあった。他の各党からは「多摩川格差」の話にも触れられ、「一部負担金撤廃と対象年齢の拡充を主張する連絡会の要望には強く共感する。拡充に向け市に働きかけをしていきたい」等、肯定的且つ前向きな反応が寄せられた。

7月24日には、6月2日に市に提出した陳情署名の審議が文教委員会で行われ、賛成多数で「趣旨採択」されるという成果を上げた。最終的に陳情署名は、8666筆集約している(提出者1名含む。2025年2月から、審議当日までに集約し、市に提出した署名筆数)。陳情が趣旨採択されたことを受け、連絡会は8月6日付で声明を发出。声明は、趣旨採択で終わりにすることなく、陳情内容を早期に実現するよう市に求めるもの。その後8月25日、川崎市長は定例会見で、川崎市の小児医療費助成制度の「一部負担金500円を撤廃」し、「対象年齢を18歳まで」拡充することを表明。この間、陳情で求めたことの全項目が実現することとなり、長年残っていた「500円の一部負担金」撤廃までもが決まり、連絡会の長きに渡る活動が実を結んだと言える。

市長の定例会見後、川崎市は「小児医療費助成制度の拡充(案)」についてパブコメを募集しており、連絡会からは市長の英断に心より賛同する内容で市に送付している。また、連絡会は10月21日付で「18歳まで川崎市こども医療費無償化 実現

の方針を受けて」と題した声明を发出。声明では、「連絡会の活動が市を動かした」と活動の意義を強調。小児医療費助成制度が拡充されるのは2026年9月の見込みとなっているが、来年9月を待たず、一刻も早く施行してほしいと要望も行った。

11月16日に開催された保団連の地域医療活動集会では、二村副支部長が川崎こども連絡会の取り組みと活動の成果について報告を行った。当日は1993年5月の結成以来、署名活動や議員懇談などを通して川崎市の小児医療費助成制度を少しずつ拡充してきた歴史を紹介。「粘り強い市議会・市への働きかけ、他団体との共闘による署名の積み上げが、18歳までの対象拡大および一部負担金撤廃という成果につながった」と強調した。

②川崎市社会保障推進協議会(以下、社保協)

花田支部長を代表委員の一人とし、月1回の幹事会に担当事務局員が参加した。

幹事会では、保険証の存続を求める運動、難聴者の補聴器助成制度の創設を求める運動等について協議した。

9月には2026年度の予算要望を市に提出。26年9月から実施を予定している小児医療費助成制度拡充の前倒し実施や難聴者の補聴器助成制度の創設等を求めた。2026年1月には予算要望書への市からの回答をうけて、市との懇談を実施した。3月末に期間延長も終了する小児ぜん息患者医療費支給事業の対象者に関し、小児医療費助成制度が拡充される9月までの間の対応について確認したところ、公平性の観点から市として対応は行わないとの回答があった。また、その他事項も前向きな回答は少なかったものの、来年度も引き続き市に対し改善要求を行っていく。

12月の社保協総会では、全ての議題が承認され、引き続き学習や市への要請等の活動を活発に行っていくことを確認した。

【成果】

- 連絡会活動において、陳情署名の集約、記者会見等を通して、この間連絡会が川崎市に求めてきた「窓口一部負担金の完全撤廃」「対象年齢18歳までの拡充」の2点について2点とも実現させることができた。
- 社保協においては、保険証の存続を求める運動、OTC類似薬の保険適用除外・追加負担等について情報共有した。

【教訓】

- 連絡会の活動においては、署名の集約・記者会見・各派議員懇談等にて市民(団体)と連携・共闘をしたこと、懇談では小児医療費助成制度の拡充の必要性について全ての会派と懇談し、理解を得られたことが要望の実現につながったと考えられる。
- 社保協について、市内の全般的な福祉制度の向上に向けて引き続き協力する。

7. 保険医新聞「川崎支部版」の発行

【2025年度活動方針】

支部会員にとって有益な情報を提供するため、常に川崎支部版紙面の改善を図る。発行回数を年3回として、緊急性があるときにプラス1号の発行とすることを試みる。

寄稿や取材を通じ、会員との双方向の交流に努める。

【活動内容】

発行月は、総会報告の7月、新年の抱負を示す1月、総会開催案内となる4月の計3回。

7月25日号は、表面に支部総会および記念講演の報告、川崎市こどもの医療費無料化を求める連絡会(以下、連絡会)の会派回り(自民党)、2025年5月に開催した支部研究会「過敏性腸症候群の病態と治療および鑑別診断」の詳細を掲載。裏面には、共産党川崎市議団と「医院経営の窮状」をテーマに行った懇談の報告、連絡会が小児医療費助成制度の拡充を求めて川崎市に陳情署名を提出・あわせて記者会見を開いたことの報告の他、寄稿「私の○○」を掲載している。

1月25日号は、表面に連絡会の活動により、2026年9月から川崎市で「18歳まで医療費無償化」が実現することになった旨の報告と、恒例の「支部幹メンバーに聞く2026年私の抱負」を掲載。裏面には、連絡会が7月に実施した会派周り(みらい、共産党、川崎・維新、公明党の計4党派)の報告、2025年12月に開催した支部研究会「知っておきたい 医療機関におけるペイシエントハラスメントのポイントと対策」の詳細、および寄稿「私の○○」を載せた。

4月25日号は、支部総会・記念講演の案内、寄稿「私の○○」、2026年4月17日に開催した支部研究会『『欧州の医学の歴史』を訪ねる旅』の詳細、2025年度活動報告・2026年度活動方針(案)を掲載した。

【成果】

- 川崎市政を大きく動かした連絡会の取り組みの紹介や、研究会報告等を掲載し、会員に情報提供できた。また、寄稿「私の○○」を継続して掲載し、会員にとって親しみやすい紙面となるよう努力した。

【教訓】

- 会員に寄り添った記事内容にするべく、会員ニーズを汲み取り、更なる紙面の充実を図る。

*活動報告案にある黒丸部分や実施回数等は、年度末に適宜更新します。

川崎支部 2026年度活動方針(案)

2026年度は、地域医療を守り改善する取り組みを重点課題とし、優先的に取り組むこととする。

1. 支部幹事会の開催

支部幹事会の活性化を図るべく、原則として隔月で支部幹事会を開催し、支部会員にとってより有益な情報の共有化、時期にかなった研究会企画などの具体化を図る。WEB開催(または併用)により、幹事会に参加しやすい環境を作る。

2. 支部幹事および評議員充足の取り組み

支部幹事・オブザーバーの増員、および、評議員の充足に努める。幹事の発掘では、特に医科の増員に引き続き努める。若手懇や会員取材、他部署との連携を強化することで支部会

員の発掘に努める。

3. 医療運動

従来通り各種健(検)診、医療費助成制度の動きを注視し、住民のための医療諸制度の拡充に向け、医療団体としての力を活かした諸団体への情報提供と講師派遣を行う。議員、行政ほか、医師会等関係団体との懇談を積極的に設定していく。

4. 会員増加の取り組み

会員増加目標を10名とし、未入会の開業医については、原則一度は訪問することとする。特に院長交代時には、組織部との連携も図り、「会員」として途切れさせないアプローチをする。

5. 医科・歯科連携の推進と研究会活動

支部ならではの文化行事や研究会を企画し、適宜、会員の

要望を汲む企画を実施する。

6. 共闘関係

小児医療費助成制度について引き続き「川崎市こどもの医療費無料化を求める連絡会」に参加し、川崎市の小児医療費を巡る現況で改善すべき点があるか検討する。川崎市の医療費助成制度等社会保障全般については、川崎市社会保障推進協議会との連携を強化し、医療専門団体として社保充実のための運動に、役員・事務局の派遣等の協力を継続する。

7. 保険医新聞「川崎支部版」の発行

支部会員にとって有益な情報を提供するため、常に川崎支部版紙面の改善を図る。発行回数を年2回(1月と4月)として、緊急性があるときにプラス1号の発行とすることを試みる。

寄稿や取材を通じ、会員との双方向の交流に努める。

第34回 在宅医療・介護セミナー

地域BCPのススメ

ースタッフ、患者、そして住民のいのちと暮らしを守るためにー

本研修は、災害時や感染症拡大時においても医療・ケア提供を途切れさせないため、実効性あるBCPの理解を高めることを目的とします。平時からの多機関連携、役割分担、情報共有のあり方を確認した上で、サージキャパシティへの対応を含め、有事でも持続可能な医療・ケア提供体制の構築を目指します。

※2026年度診療報酬改定で、在宅療養支援病院・診療所、および機能強化加算を算定する医療機関に対し、災害・感染症発生時における業務継続計画(BCP)の策定が施設基準として義務化されます。【経過措置2027年5月末】

5.30(土)

18:30~20:00

参加費
無料

現地・WEB
同時開催

協会会議室とWEBのハイブリッド開催

プログラム

18:30~ 開会挨拶&講師紹介
当会地域医療対策部部長、オカタ外科医院院長 岡田 孝弘氏

18:35~ 講演(60分)
講師：慶応義塾大学医学部 衛生学公衆衛生学教室 講師
一般社団法人 コミュニティヘルス研究機構
機構長・理事長 山岸 暁美氏

19:35~ 質疑応答
20:00 閉会

※十分な質疑応答の時間を設け、現場が抱える個別の疑問を解消することで、実効性あるBCP策定を後押しします。

申込方法

【WEB参加】右のQRコードまたは以下のURLから
事前登録をお願いします。

<https://x.gd/u0rNa>

※協会ホームページのイベントカレンダーからもご登録いただけます。



【現地参加】お電話にてお申込みください。

参加対象 医師・歯科医師、医療・介護福祉職等

定員 1,000名(現地定員50名)

お問合せ 地域医療対策部 ☎045-313-2111

*日医生涯教育講座CC14「災害医療」(1単位)

【医籍番号の入力について(6面左下<<重要>>参照)】

名義後援

【主催】神奈川県保険医協会【後援】神奈川県、横浜市医療局、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、山北町、開成町、箱根町、湯河原町、愛川町、清川村、公益社団法人神奈川県医師会、公益社団法人神奈川県薬剤師会、一般社団法人横浜市医師会、公益社団法人川崎市医師会、一般社団法人横須賀市医師会、一般社団法人横浜市歯科医師会、公益社団法人神奈川県病院協会、一般社団法人神奈川県精神科病院協会、公益社団法人神奈川県看護協会、一般社団法人日本精神科看護協会神奈川県支部、一般社団法人神奈川県訪問看護ステーション協議会、公益社団法人神奈川県病院薬剤師会、一般社団法人横浜市薬剤師会、公益社団法人神奈川県理学療法士会、一般社団法人神奈川県作業療法士会、神奈川県言語聴覚士会、一般社団法人神奈川県臨床検査技師会、公益社団法人神奈川県臨床工学技士会、公益社団法人神奈川県放射線技師会、公益社団法人神奈川県栄養士会、公益社団法人神奈川県社会福祉士会、一般社団法人神奈川県医療ソーシャルワーカー協会、公益財団法人神奈川県予防医学協会、公益財団法人かながわ健康財団、日本赤十字社神奈川県支部、神奈川県公衆衛生協会、神奈川県国民健康保険団体連合会、社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会、社会福祉法人横浜市社会福祉協議会、社会福祉法人川崎市社会福祉協議会、公益社団法人神奈川県介護福祉士会、一般社団法人神奈川県高齢者福祉施設協議会、神奈川県認知症高齢者グループホーム協議会、一般社団法人神奈川県介護支援専門員協会、一般社団法人横浜市介護支援専門員協議会、社会福祉法人横浜市福祉サービス協会、川崎市福祉サービス協議会、公益社団法人認知症の人と家族の会神奈川県支部、一般社団法人神奈川県知的障害施設団体連合会、NPO法人フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会(4月20日現在、順不同・敬称略)